

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 SHOOT		
○保護者評価実施期間	2024年12月20日 ～ 令和7年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2024年12月20日 ～ 令和7年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・有資格者ばかりの職員	いままでの経験をいかしやすく、お子様との関わりや寄り添いに慣れているので発達障害のあるお子様への支援が行き届きやすい。	さらに療育技術の向上のための勉強会などを受講していただき、現場でお子様への療育提供にいかしていただきたい。
2	放課後等デイと児童発達支援の支援環境をわけてサービス提供している(現在の発達段階に合わせて有効と思える設定)ので生活スキルの段階やコミュニケーションの段階によって支援が無理なくできる。	お子様の発達の段階をしっかりとアセスメントし、有効な環境を常に考えサービス提供時間を無駄なく支援しております。	環境の設定は常日頃、個人にあったものの考えを強化していきます。
3	いろいろな郊外活動の提供	日々の療育活動が社会でどうメリットがあるのかを実践する活動を豊富に提供できるようにお出かけの療育も大切にしています。	今後いろいろな活動を経験させてあげたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	パート勤務の方が多いため、周知時間、研修時間などの時間の確保がむずかしい。	勤務時間の関係	パート勤務の方とは月1回は時間を必ず作り支援の周知や研修などの時間を確保していく。 打合せを無駄なくしっかり行っています。
2	療育スペースが狭い、トイレが1つの環境		活動は工夫して子供たちが楽しめるようにしています。 運動あそびは町内館会の会館を今後も使わせていただく。
3			